

授業科目 ジェンダースポーツ論

【担当教員名】 小田切毅一	対象学年	3	対象学科	本*
	開講時期	前	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

女性スポーツの底辺拡大と共にスポーツを楽しむ人々も増加し、競技スポーツ界における女性の活躍もめざましい。こうした中ではまた、スポーツとジェンダーのあり方を問うことが、スポーツ愛好者や選手にとって不可欠な問題ともなる。新たな男女参画共生社会に標榜されるスポーツのありようを検討する

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

- ・スポーツとジェンダーに関わる問題がクローズアップされる今日の時代状況を理解できる
- ・スポーツ行動の中にどんなジェンダー問題が潜在化されているか、という問いかけを持てるようになる
- ・近代スポーツの発展過程の中で論議されてきたジェンダー問題について理解を深める

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	生物学的性差と文化・社会的性差：何故スポーツとジェンダーの論議か	山崎史恵 山崎史恵	
2	女性スポーツ選手の視点とジェンダー論、そしてカウンセリング		
3	ジェンダーを増幅させるスポーツ文化：コマーシャリズムやメディアなど		
4	スポーツにおけるセクシャル・ハラスメント考		
5	ジェンダー再構築への挑戦：TITLEIX成立が意味するもの		
6	近代オリンピックに登場するジェンダー問題		
7	総括論議：学校体育とジェンダー問題：体育は性を分割させる？		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	授業に先だって適宜提供			
参考書	飯田貴子、井谷恵子『スポーツ・ジェンダー学への招待』（明石書房）			
その他の資料	高橋一郎、萩原美代子他『ブルマーの社会史』（青弓社）			

【評価方法】 出席・欠席の実績＋試験およびレポートによる	【履修上の留意点】
---------------------------------	-----------

健康スポーツ学科 専門